

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 インストールガイド

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 について.....	4
章 2: システム要件.....	6
管理システムのシステム要件.....	6
管理対象システムのシステム要件.....	6
章 3: Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のダウンロードとインストール.....	8
章 4: Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のアップグレード.....	10
章 5: Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のアンインストール.....	12
章 6: Dell EMC サポート サイトからのサポート コンテンツへのアクセス.....	13
章 7: 関連マニュアル.....	14

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 について

本ガイドでは、Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のソフトウェア要件、システム要件、インストール手順、アップグレード手順、アンインストール手順を説明します。

このプラグインは、Nagios Core によって管理される環境で Dell デバイスを監視する機能を提供します。このプラグインにより、全体的およびコンポーネントレベルの正常性監視を含め、ハードウェアレベルで Dell デバイスを完全に表示できます。プラグインは、Dell デバイスの基本的なインベントリ情報とイベント監視も提供します。また、さらなるトラブルシューティング、設定、および管理アクティビティのための 1 対 1 ウェブコンソール起動もサポートしています。

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 は、次の Dell デバイスをサポートしています。

- Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) with Lifecycle Controller の使用によるエージェントフリーメソッドを使用したデルの第 12 世代以降の Dell PowerEdge サーバー
- Dell Datacenter Scalable Solutions (DSS)
- Dell PowerEdge FX2/FX2s シャーシ、Dell PowerEdge VRTX シャーシ、および Dell PowerEdge M1000e シャーシ
- Dell EqualLogic PS-Series ストレージアレイ、Dell PowerVault MD 34/38 Series ストレージアレイ、および Dell Compellent ストレージアレイ

デバイスサポートの詳細については、『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「サポートマトリックス」を参照してください。

表 1. 主な機能

機能	機能性
デバイス検出	Dell デバイスを検出します。検出が完了すると、デバイスごとにホスト定義とサービス定義が作成されます。 iDRAC with Lifecycle Controller 経由での Dell サーバーの検出には、SNMP または WS-MAN プロトコルを選択できます。Dell ストレージは SNMP プロトコルを使用して検出され、Dell シャーシは WS-MAN プロトコルを使用して検出されます。
デバイス情報	デバイス検出が正常に行われた後、検出されたデバイスに関する情報（サービスタグ、ファームウェアバージョン、デバイス名、デバイスモデルなど）が表示されます。この情報は、Nagios Core コンソールの [ホスト] または [サービス] ビューで表示することができます。 デバイスサービスとそれらの説明については、『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「 デバイス情報 」を参照してください。
デルデバイスの全体的な正常性の監視	Dell デバイスの全体的な正常性を監視します。
デルデバイスのコンポーネントレベルの正常性	Dell デバイスのコンポーネント（物理ディスク、電源装置、温度プローブ、電圧プローブなど）の正常性を監視し、各コンポーネントに関する情報が表示されます。 Dell デバイスのコンポーネントレベルの正常性の詳細については、『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「 Dell デバイスのコンポーネント正常性の監視 」を参照してください。
SNMP アラートの監視	デルデバイスに対する SNMP アラートを監視します。この機能が表示するのは、最後に受信した SNMP アラートのみです。 受信したすべての SNMP アラートを表示するには、Nagios Core コンソールで [レポート] > [アラート] > [履歴] に移動します。 それぞれのアラートを迅速にトラブルシューティングするために、SNMP アラートに対応した、サポートされている Dell デバイスのアラート Knowledge Base (KB) 情報を表示することもできます。

表 1. 主な機能 (続き)

機能	機能性
	詳細については、『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「生成されたアラートの Knowledge Base (KB) メッセージ」を参照してください。
Dell デバイス固有コンソールの起動	サポートされている Dell デバイスのトラブルシューティングと管理をさらに行うため、それぞれの Dell 1 対 1 コンソールを起動します。
保証情報	サポートされている Dell デバイスに対して保証情報を監視および表示します。詳細については、『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「Dell デバイスの保証情報」を参照してください。

このプラグインは、Nagios Core のバージョン 3.5.0 以降をサポートします。

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 をインストールする前に、この製品に関する最新情報を得るため、Dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement または Dell.com/openmanagemanuals から最新のマニュアルをダウンロードしてください。

システム要件

プラグインのインストールを行う前に、使用しているプロトコルに応じて、次の要件を満たしていることを確認してください。

共通の前提条件：

- Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされており、すべての Nagios Core コンポーネントが機能している。
- Perl バージョン 5.8.8 以降がインストールされている。
- Net-IP Perl モジュールバージョン 1.26 以降がインストールされている。
- (オプション) Dell 保証情報を表示するために、Java バージョン 1.6 以降がインストールされている。
- (オプション) インターネットプロトコルバージョン 6 (IPv6) を使用した管理下システムの監視のために、Socket6 Perl モジュールバージョン 0.23 以降がインストールされている。
- (オプション) SNMP アラートを受信するために、SNMP トラップトランスレータ (SNMPTT) がインストールされている。最新バージョンの使用を推奨。
- (オプション) 次のような Dell シャーシのコンポーネント属性情報を監視するために、サポートされている Dell Remote RACADM ユーティリティがインストールされている。
 - [Dell シャーシファンスステータス] の [速度 (RPM)]。
 - [Dell シャーシ電源装置ステータス] の [入力電流 (A)]。
 - [Dell シャーシ電源装置ステータス] の [入力電圧 (V)]。
 - [Dell シャーシ電源装置ステータス] の [出力電力 (W)]。
 - [Dell シャーシ I/O モジュールステータス] の正常性。


サポートされている Dell Remote RACADM ユーティリティのダウンロードとインストールの詳細については、[\[en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/3205.racadm-command-line-interface-for-drac\]](http://en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/3205.racadm-command-line-interface-for-drac) にアクセスしてください。

SNMP を使用する場合：

Net-SNMP Perl モジュールのバージョン 6.0.1 以降がインストールされている。

WS-MAN を使用する場合：

OpenWSMAN とその Perl バインディングがインストールされている。

 **メモ:** iDRAC デバイスの検出には、要件に基づいて SNMP または WS-MAN プロトコルを選択できます。Dell ストレージは SNMP プロトコルを使用して検出され、Dell シャーシは WS-Man プロトコルを使用して検出されます。

トピック：

- [管理システムのシステム要件](#)
- [管理対象システムのシステム要件](#)

管理システムのシステム要件

管理システムの要件は、次のとおりです。

- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7 および RHEL 6.6 (32 ビットおよび 64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 および SLES 10 (32 ビットおよび 64 ビット)

対応バージョンの RHEL および SLES ゲストオペレーションシステムを実行している ESXi もサポートされています。

管理対象システムのシステム要件

管理下システムの必要条件は、次のとおりです。

表 2. Dell デバイス用の対応ファームウェアバージョン

Dell デバイス	ファームウェア	対応ファームウェアバージョン
デルの第 12 世代 PowerEdge サーバー	iDRAC7	2.20.20.20 および 2.15.10.10
デルの第 13 世代 PowerEdge サーバー	iDRAC8	2.20.20.20 および 2.15.10.10
Dell PowerEdge R530xd	iDRAC8	2.20.20.20 および 2.12.12.12
Dell PowerEdge R930	iDRAC8	2.20.20.20 および 2.13.13.12
Dell PowerEdge C4130	iDRAC8	2.20.20.20 および 2.15.10.10
Dell PowerEdge C6320	iDRAC8	2.14.14.12
Dell Datacenter Scalable Solutions (DSS 1500 および DSS 2500)	iDRAC8	2.16.16.12
Dell Datacenter Scalable Solutions (DSS 1510)	iDRAC8	2.17.17.13
Dell PowerEdge M1000e シャーシ	CMC	5.1 および 5.0
Dell PowerEdge VRTX シャーシ	CMC	2.1 および 2.0
Dell PowerEdge FX2/FX2s シャーシ	CMC	1.3 および 1.2
Dell Compellent ストレージアレイ	該当なし	6.6 および 6.5
Dell EqualLogic PS-Series ストレージアレイ	該当なし	8.0.4 および 7.1.7
Dell PowerVault MD 34/38 シリーズストレージアレイ	該当なし	8.20.09.60 および 8.20.05.60

- SNMP を使用する場合は、それぞれのデバイスに SNMP が設定されていることを確認してください。
Nagios Core コンソールで SNMP トラップを受信する場合は、それぞれのデバイスに SNMP トラップ送信先を設定してください。
詳細については、dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement にある『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「付録」を参照してください。
- WS-MAN プロトコルを使用している場合は、デフォルトのサービスアカウントではなく、WS-MAN サービスアカウントの使用が推奨されます。詳細については、Dell.com/esmanuals にある各デバイスのユーザーズガイドの「ユーザーアカウントと権限の設定」を参照してください。

対応プラットフォームのリストについては、『Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』の「サポートマトリックス」を参照してください。

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のダウンロードとインストール

1. デルサポートサイト (Dell.com/support) または Nagios Exchange (exchange.nagios.org/) から、最新の Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 インストーラをダウンロードします。

インストーラは、[Dell_OpenManage_Plugin_v2.0_Nagios_Core_A00.tar.gz] という名前の .tar.gz ファイルとしてパッケージ化されています。

2. ダウンロードしたフォルダを保存した場所に移動し、次のコマンドを実行して内容を解凍します。

```
tar -zxvf Dell_OpenManage_Plugin_v2.0_Nagios_Core_A00.tar.gz
```

次のフォルダとファイルが解凍されます。

- Dell_OpenManage_Plugin フォルダ
- Dell_OM_Plugin_2_0_For_NagiosCore_IG.pdf ファイル
- Dell_OM_Plugin_2_0_For_NagiosCore_ReadMe.txt ファイル
- license_en.txt ファイル

3. Dell_OpenManage_Plugin/Install フォルダに移動し、次のコマンドを実行してインストーラを起動します。

```
./install.sh
```

4. お使いのシステムに Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされている場合は [Y] を押します。またはその他任意のキーを押してインストール処理を終了し、Nagios Core バージョン 3.5.0 以降をインストールしてから、インストール処理を再度開始します。

[Enter] を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。

5. インストール済みの Nagios Core の場所を尋ねられたら、パスを入力して [Enter] を押します。

または、[Enter] を押して、デフォルト場所である /usr/local/nagios を使用して続行することもできます。

入力が無効であった場合はエラーが表示され、インストール処理が終了します。

前提条件チェックが実行され、インストール済みの前提条件が表示されます。

メモ: Net-IP、または Net-SNMP および OpenWSMAN の両方がシステムにインストールされていない場合、インストール処理は終了します。前提条件が満たされていることを確認してから、インストールを再度開始してください。

その他の前提条件が満たされていない場合は、インストール手順が適切なメッセージを表示し、インストールが続行されます。

6. **ライセンス契約** に同意する場合は [Y] を押し、同意しない場合はその他任意のキーを押してインストールを終了します。

[Enter] を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。

7. [Y] キーを押して [escape_html_tags] 属性を [0] に設定、または [N] を押してデフォルト設定 [1] で続行します。

[Enter] を押して、デフォルト値 (N) で続行することも可能です。

メモ: デルプラグインの異なるインスタンスまたはエンティティを区別するため、[escape_html_tags] 属性をより優れた可読性 (マルチラインビュー) のために [0] に設定してインストールを続行することをお勧めします。

8. SNMPPTT をインストールした場合、SNMPPTT がインストールされている場所のパスを入力してから [Y] を押してインストールを続行します。

または、[Enter] を押して、デフォルトのファイルパス、/etc/snmp/snmpptt.ini で続行することも可能です。SNMPPTT をインストールしておらず、この手順を省略したい場合は、[Enter] を押します。

メモ: このプラグインのインストール中には SNMPPTT をインストールしなかったが、後で SNMP アラートを受信したくなつたという場合は、次の手順を実行します。

- SNMPPTT をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh trap
```

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

9. RACADM をインストールした場合、RACADM がインストールされている場所のパスを入力してから [Y] を押してインストールを続行します。

または、[Enter] を押して、デフォルトのファイルパス、/opt/dell/srvadmin/sbin/racadm で続行することも可能です。RACADM をインストールしておらず、この手順を省略したい場合は、[Enter] を押します。

メモ: このプラグインのインストール中には RACADM をインストールしなかったが、後で RACADM を統合したくなったという場合は、次の手順を実行します。

- RACADM をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh racadm
```

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

10. Java をインストールした場合、Java がインストールされている場所のパスを入力してから [Y] を押してインストールを続行します。

または、[Enter] を押して、デフォルトのファイルパスである /usr/bin/java を使用して続行することもできます。

メモ: このプラグインのインストール中には Java をインストールしなかったが、後で Java バージョンをインストールまたはアップグレードしたくなったという場合は、次の手順を実行します。

- Java をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh java
```

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

これで、プラグインがインストールされました。

11. Nagios Core 設定エントリを検証するには、次のコマンドを実行します。

```
<NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg
```

正常な設定アップデートでは、エラーまたは警告が表示されません。この手順中にエラーまたは警告を受け取った場合は、それらを手動で解決します。

12. SNMPPTT をインストールしており、SNMPPTT 設定エントリを検証したいという場合は、SNMPPTT がインストールされているパスに移動して、snmpptt.ini ファイル内でセクション [TrapFiles] の下に次のエントリが存在していることを確認します。

- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf

13. 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。

```
service nagios restart
```

14. SNMPPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPPTT サービスを再起動します。

```
service snmpptt restart
```

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のアップグレード

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 1.0 から Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 にアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. デルサポートサイト (Dell.com/support) または Nagios Exchange (exchange.nagios.org/) から、最新の Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 インストーラをダウンロードします。

インストーラは、[Dell_OpenManage_Plugin_v2.0_Nagios_Core_A00.tar.gz] という名前の .tar.gz ファイルとしてパッケージ化されています。

2. ダウンロードしたフォルダを保存した場所に移動し、次のコマンドを実行して内容を解凍します。

```
tar -zxvf Dell_OpenManage_Plugin_v2.0_Nagios_Core_A00.tar.gz
```

次のフォルダとファイルが解凍されます。

- Dell_OpenManage_Plugin フォルダ
- Dell_OM_Plugin_2_0_For_NagiosCore_IG.pdf ファイル
- Dell_OM_Plugin_2_0_For_NagiosCore_ReadMe.txt ファイル
- license_en.txt ファイル

3. Dell_OpenManage_Plugin/Install フォルダに移動し、次のコマンドを実行してインストーラを起動します。

```
./install.sh
```

4. お使いのシステムに Nagios Core バージョン 3.5.0 以降がインストールされている場合は [Y] を押します。またはその他任意のキーを押してインストール処理を終了し、Nagios Core バージョン 3.5.0 以降をインストールしてから、インストール処理を再度開始します。

[Enter] を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。

5. インストール済みの Nagios Core の場所を尋ねられたら、パスを入力して [Enter] を押します。

または、[Enter] を押して、デフォルト場所である /usr/local/nagios を使用して続行することもできます。

入力が無効であった場合はエラーが表示され、インストール処理が終了します。

前提条件チェックが実行され、インストール済みの前提条件が表示されます。

① メモ: Net-IP、または Net-SNMP および OpenWSMAN の両方がシステムにインストールされていない場合、インストール処理は終了します。前提条件が満たされていることを確認してから、インストールを再度開始してください。

その他の前提条件が満たされていない場合は、インストール手順が適切なメッセージを表示し、インストールが続行されます。

6. Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 にアップグレードするプロンプトが表示されたら、[Y] を押します。あるいは、[Enter] を押して、デフォルト値 (Y) で続行することもできます。

アップグレードしない場合は、他の任意のキーを押してインストールプロセスを終了します。

7. **ライセンス契約** に同意する場合は [Y] を押し、同意しない場合はその他任意のキーを押してインストールを終了します。

[Enter] を押して、デフォルト値 (Y) で続行することも可能です。

8. SNMPPTT をインストールした場合、SNMPPTT がインストールされている場所のパスを入力してから [Y] を押してインストールを続行します。

または、[Enter] を押して、デフォルトのファイルパス、/etc/snmp/snmpptt.ini で続行することも可能です。SNMPPTT をインストールしておらず、この手順を省略したい場合は、[Enter] を押します。

① メモ: このプラグインのインストール中には SNMPPTT をインストールしなかったが、後で SNMP アラートを受信したくなったという場合は、次の手順を実行します。

- SNMPPTT をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh trap
```

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

9. RACADM をインストールした場合、RACADM がインストールされている場所のパスを入力してから [Y] を押してインストールを続行します。

または、[Enter] を押して、デフォルトのファイルパス、/opt/dell/srvadmin/sbin/racadm で続行することも可能です。RACADM をインストールしておらず、この手順を省略したい場合は、[Enter] を押します。

メモ: このプラグインのインストール中には RACADM をインストールしなかったが、後で RACADM を統合したくなったという場合は、次の手順を実行します。

- RACADM をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh racadm
```

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

10. Java をインストールした場合、Java がインストールされている場所のパスを入力してから [Y] を押してインストールを続行します。

または、[Enter] を押して、デフォルトのファイルパスである /usr/bin/java を使用して続行することもできます。

メモ: このプラグインのインストール中には Java をインストールしなかったが、後で Java バージョンをインストールまたはアップグレードしたくなったという場合は、次の手順を実行します。

- Java をインストールします。
- <NAGIOS_HOME>/dell/install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./install.sh java
```

<NAGIOS_HOME> は Nagios Core のインストール場所であり、<NAGIOS_HOME> の場所はデフォルトで /usr/local/nagios です。

これで、プラグインがインストールされました。

11. Nagios Core 設定エントリを検証するには、次のコマンドを実行します。

```
<NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg
```

正常な設定アップデートでは、エラーまたは警告が表示されません。この手順中にエラーまたは警告を受け取った場合は、それらを手動で解決します。

12. SNMPPTT をインストールしており、SNMPPTT 設定エントリを検証したいという場合は、SNMPPTT がインストールされているパスに移動して、snmpptt.ini ファイル内でセクション [TrapFiles] の下に次のエントリが存在していることを確認します。

- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
- <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf

13. 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。

```
service nagios restart
```

14. SNMPPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPPTT サービスを再起動します。

```
service snmpptt restart
```

Nagios Core 向け Dell OpenManage Plug-in バージョン 2.0 のアンインストール

1. <NAGIOS_HOME>/dell/Install フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。
./uninstall.sh
2. アンインストールしてよいかを確認するメッセージが表示されたら、[Y] を押してアンインストールするか、[N] を押してアンインストール処理を終了します。
または、[Enter] を押して、アンインストールを終了することもできます。
3. アンインストール処理を続行するためのプロンプトが表示されたら、[Y] を押して続行するか、[N] を押してアンインストール処理を終了します。
または、[Enter] を押して終了することもできます。

メモ: インストール中に [escape_html_tags] 属性の値を [0] に設定した場合は、<NAGIOS_HOME>/etc/cgi.cfg ファイルに移動してこの値を編集することにより、この値をデフォルト値である [1] にリセットすることができます。

これで、プラグインがアンインストールされました。

4. Dell OpenManage Plug-in がアンインストールされたことを検証するには、<NAGIOS_HOME> フォルダに移動して、dell フォルダが削除されていることを確認します。
5. Nagios Core の設定エントリを確認するには、Nagios Core がインストールされているパスに移動し、次のコマンドを実行します。

```
<NAGIOS_HOME>/bin/nagios -v <NAGIOS_HOME>/etc/nagios.cfg
```

正常な設定アップデートでは、エラーまたは警告が表示されません。この手順中にエラーまたは警告を受け取った場合は、それらを手動で解決します。

6. SNMPPTT をインストールしている場合は、SNMPPTT がインストールされているパスに移動し、snmpptt.ini ファイル内のセクション [TrapFiles] の下から次のエントリが削除されていることを確認します。
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Agent_free_Server_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Chassis_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_Compellent_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_EqualLogic_Traps.conf
 - <NAGIOS_HOME>/dell/config/templates/Dell_PowerVaultMD_Traps.conf
7. 次のコマンドを実行して Nagios Core のサービスを再起動します。
service nagios restart
8. SNMPPTT をインストールした場合は、次のコマンドを実行して SNMPPTT サービスを再起動します。
service snmpptt restart

Dell EMC サポート サイトからのサポート コンテンツへのアクセス

直接リンクを使用して Dell EMC サポート サイトに移動するか、検索エンジンを使用して、一連のシステム管理ツールに関連するサポート コンテンツにアクセスします。

- 直接リンク：
 - Dell EMC エンタープライズ システム管理および Dell EMC リモート エンタープライズ システム管理：<https://www.dell.com/esmmanuals>
 - Dell EMC 仮想化ソリューション：<https://www.dell.com/SoftwareManuals>
 - Dell EMC OpenManage：<https://www.dell.com/openmanagemanuals>
 - iDRAC：<https://www.dell.com/idracmanuals>
 - Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズ システム管理：<https://www.dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement>
 - Dell EMC Serviceability Tools：<https://www.dell.com/serviceabilitytools>
- Dell EMC サポート サイト：
 1. <https://www.dell.com/support> にアクセスします。
 2. [すべての製品の参照] をクリックします。
 3. [すべての製品] ページで [ソフトウェア] をクリックして、次に必要なリンクをクリックします。
 4. 必要な製品をクリックして、必要なバージョンをクリックします。

検索エンジンを使用する場合は、検索ボックスにドキュメントの名前とバージョンを入力します。

関連マニュアル

このガイド以外にも、Dell EMC サポートサイト (Dell.com/support/manuals) で次のガイドにアクセスできます。マニュアル ページで**ソフトウェアおよびセキュリティ**をクリックし、適切な製品リンクをクリックして、マニュアルにアクセスします。

- *Integrated Dell Remote Access Controller 9 (iDRAC9) バージョン 3.00.00.00 ユーザーズ ガイド*
- *Dell EMC XC シリーズハイパーコンバージドアプライアンスの各種マニュアル*
- *Dell EMC VxRail アプライアンス シリーズの各種マニュアル*
- *Lifecycle Controller 搭載 Integrated Dell Remote Access Controller 8 ユーザーズ ガイド*
- *Integrated Remote Access Controller 7 ユーザーズ ガイド*
- *Dell EMC PowerEdge M1000e 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズ ガイド*
- *Dell PowerEdge VRTX 用 Dell EMC Chassis Management Controller ユーザーズ ガイド*
- *Dell PowerEdge FX2/FX2s 用 Dell EMC Chassis Management Controller ユーザーズ ガイド*
- *Compellent SC-Series ストレージ アレイ ユーザーズ ガイド*
- *EqualLogic PS-Series ストレージ アレイ ユーザーズ ガイド*
- *PowerVault MD-Series ストレージ アレイ ユーザーズ ガイド*
- *Dell EMC ネットワーク スイッチ ユーザーズ ガイド*

www.nagios.org/documentation で、Nagios XI 関連のマニュアルも参照してください。